

第36回（2007年度）日墨研修生・学生等交流計画募集要項 （一般公募用）

2007年6月
外務省中南米局中米課

メキシコ政府及び日本政府は、日墨研修生・学生等交流計画により、日本からメキシコへの留学生を下記の通り募集する。

1. コースの概要・対象者・募集人数

Aコース：スペイン語中級～上級者：20名程度

①専攻コース【スペイン語中・上級者（学士号取得者が望ましい）】

研修前半（約6ヶ月間）は、大学の外国人コースでのスペイン語習得を中心とし、後半（約6ヶ月間）は、大学等で開講されている専門分野の講義を履修（又は、聴講）する。

②研究コース【スペイン語上級者（大学院レベル）】

大学院、研究機関等で、メキシコ、中南米に関するテーマの研究を行う。1年目の研究成果及び研修態度を踏まえ、成績優秀者については、本人の希望により1年間研修期間の延長が認められる。

Bコース：スペイン語初級者：5名程度

①特別交流コース【メキシコ及び中南米と関係のある分野を専攻する者】

大学の外国人コースでスペイン語習得をしつつ、大学等に在籍し、各自の関心テーマの研究を行う。

②国際的医療人材支援コース【メキシコ、中南米との医療分野の交流、国際緊急医療に関心を有する者。】

大学等の外国人コースでスペイン語を習得しつつ、大学、医療専門学校等で聴講、研修を行う。

※なお、Bコースはいずれも、一定の英語力を有している者が望ましい。

2. 専攻・研究分野：スペイン語の他、文系、理系のあらゆる分野（芸術・デザイン系は除く。）

3. 受入機関 メキシコ国家科学技術審議会（CONACYT）

（*研修生の受入大学等については同審議会が各研修生の希望分野や語学力を考慮して決定する。
第35回（2006年度）は、メキシコ国立自治大学、グアダハラハラ大学等が受入大学となった。）

4. 派遣・給付期間 約1年間（2008年7月末～2009年7月末）（予定）

（*なお、研修期間中（1年間）は、原則として、帰国は認められない。）

5. 待遇（第35回 2006年度の場合）

- （1）滞在費：月額6,827ペソ（約630USドル）（*着後、滞在費1ヵ月相当額の手当を支給。）
- （2）医療保険：メキシコ政府（公務員保険・社会サービス庁：ISSSTE）が原則として負担。
- （3）入学金・授業料：免除（但し年間の学費が14,000ペソを超える場合にはこの限りでない）
- （4）渡航費：東京～メキシコ・シティー間の往復航空券支給
- （5）住居の選定：原則ホームステイとし、CONACYTや大学等の協力を得ながら留学生自身が行う。

6. 応募資格（原則として、過去に本計画によって派遣された者は対象外）

- （1）日本国籍を有する者
- （2）健康な者
- （3）4年制大学の学部又は大学院に在学中、又は、卒業した者、或いは、高校・短大卒で十分な職務経験を有する者。
- （4）2008年8月1日現在で、22歳以上35歳未満の者。
- （5）メキシコに単身で渡航できる者

7. 応募方法

- (1) 出願書類：別記「出願書類一覧」参照
- (2) 願書提出先：独立行政法人日本学生支援機構 留学情報センター
受付時間：月～金曜日（祝日を除く） 9：30～17：00
〒135-8630 東京都江東区青海 2-79（新交通ゆりかもめ「船の科学館」駅 東出口 徒歩5分）
TEL：03-5520-6131（サービスコード：9060）
FAX：03-5520-6121
注：出願封筒の表に「第36回日墨交流計画出願書類在中」と朱書のうえ、簡易書留または宅配便で送付するか、持参すること。
- (3) 願書提出期限：2007年9月28日（金）15：00必着

8. 選考

(1) 一次試験

Aコース：筆記試験（西文和訳、和文西訳）

日時：2007年10月19日（金）10：00～12：00

場所：東京会場 （独）日本学生支援機構 東京国際交流館 プラザ平成4F 会議室
（所在地、電話・FAXは上記留学情報センターと同じ）

京都会場 京都外国語大学国際交流会館

〒615-0058 京都府京都市右京区西院笠目町6（阪急西院駅下車 徒歩15分）

TEL：075-312-3388

*筆記試験は、出願者が願書に記載した希望受験地で行う。上記の日時の15分前までに各会場に集合すること。

Bコース：書類選考

一次試験の結果は、11月中旬に外務省中米課より書面にて通知する。

(2) 二次試験

A・Bコース：面接試験（Aコースはスペイン語の会話試験を含む）

日時：2007年12月3日（月）

場所：（独）日本学生支援機構 東京国際交流館 プラザ平成4F 会議室
（所在地、電話・FAXは上記留学情報センターと同じ）

※面接時間については一次選考結果通知の際に伝える。

※二次試験の結果は、12月中旬を目途に外務省中米課より本人宛に通知する。

(3) 最終決定（Aコース、Bコース共通）

国内選考に合格した者は、正式な候補者としてメキシコ国家科学技術審議会（CONACYT）に推薦される。最終決定は同審議会が行い、その結果は2008年6月頃に書面にて通知する。

<2007年度日墨研修生・学生等交流計画選考日程表>

日程	Aコース	Bコース
2007年9月28日（金）	願書提出締切	願書提出締切
10月19日（金）	一次試験（筆記試験）	
12月 3日（月）	二次試験（面接試験）	二次試験（面接試験）

9. 出発前スペイン語講習会、説明会の開催

- (1) 2008年5月頃にBコース合格者のうちの希望者を対象としたスペイン語講習会を行う（有料）。
- (2) 出発前に外務省において渡航前説明会を開催する。

10. 留意事項

- (1) 上記1. に記載のAコースとBコースの併願は認めない。Aコースの専攻コースと研究コースの併願は可。
- (2) 第36回(2007年度)研修の実施計画については、今後、メキシコ側と協議の予定である。本募集要項に記載されている諸要件(専攻分野、受入機関、派遣期間、待遇等)は前年度の例に基づく暫定的なものであり、今後変更もあり得る。
- (3) 研修生は、メキシコ到着後に受入機関であるCONACYTによるオリエンテーションを受けた後、受入大学、大学院等で研修を行う予定。
- (4) 全ての研修生は、CONACYTに対し2ヶ月毎に研修活動報告書を提出することが求められる。また、メキシコ政府よりの奨学金を受けているとの意識のもと、真面目な態度で研修に取り組むこと、良好な成績を修めることが求められる。
- (5) 本計画に関する問い合わせのうち、提出書類や選考試験の場所・日程に関しては日本学生支援機構留学情報センターに、選考試験及び選考終了後の各種照会は外務省中米課(担当:青木 TEL:03-5501-8000 内線2494 e-mail:tomoko.aoki@mofa.go.jp) に対して行うこと。
- (6) 安全で有意義な留学のため、この奨学金に応募する者は、志望校等を選定する際、また、奨学金留学生に決定し渡航する際には、各自で必ず事前に留学先の治安状況等の安全情報をはじめとする留学に関する情報を収集すること。なお、情報収集にあたっては、公的な留学情報機関である「日本学生支援機構留学情報センター」や海外でのトラブル防止に役立つ世界各国の治安情勢や滞在中の留意点などの安全情報を提供している外務省の「海外安全相談センター」の情報提供サービスを活用すること。

●独立行政法人 日本学生支援機構留学情報センター

TEL:03-5220-6131 (サービスコード:9060) ホームページ:<http://www.jasso.go.jp/ryugaku/>)

●外務省ホームページ:<http://www.mofa.go.jp/mofaj/>)

●海外安全相談センター(外務省領事局海外邦人安全課)

TEL:03-3580-3311(代)(内線:2902、2903)

海外安全ホームページ:<http://www.anzen.mofa.go.jp/>)

出願書類一覧

-
1. 出願書 和文（別紙）6部（正本1部+コピー5部）
-
2. 経歴書 西文 6部（正本1部+コピー5部）
 氏名、学歴（高校以上については学校・学部・学科名および卒業/修了年月日）、職歴・研究歴（発表論文著書等、日付も記入）を詳しく記載し、写真を1枚貼付けること。なお、Bコースに応募の場合は英文で作成してもよい。
-
3. メキシコにおける研究計画書（*ワープロを使用すること。形式は自由。）
- （Aコース） 和文 6部（正本1部+コピー5部）
西文 6部（正本1部+コピー5部）
- （1）専攻コース：
 ①留学中の研究計画（大学・研究機関名、学部学科名・研修内容等）及び②帰国後の予定について、和文及び西文にて（内容が一致していること）、A4用紙で各3枚程度にまとめる。
- （2）研究コース：
 ①留学中の研究計画（大学院、研究機関名・研究テーマ、研究内容等）について、和文及び西文にて（内容が一致していること）A4用紙で10枚程度にまとめる。
 ②研究計画の概要を和文及び西文にてA4用紙で2～3枚にまとめる。
 ③帰国後の予定について、和文及び西文にてA4用紙で3枚程度にまとめる。
-
- （Bコース） 和文 6部（正本1部+コピー5部）
西（英）文(概要) 6部（正本1部+コピー5部）
- （1）特別交流コース及び（2）国際的医療人材支援コース
 ①留学中の研究計画（大学・研究機関名、学部学科名・研修内容等を）及び帰国後の予定について和文にてA4用紙で10枚程度にまとめる
 ②研究計画の概要を西（英）文にてA4用紙で2～3枚にまとめる。
-
4. 志望動機書（*ワープロを使用すること。形式は自由。） 和文 6部（正本1部+コピー5部）
西（英）文 6部（正本1部+コピー5部）
- 志望動機について、和文及び西文にて（内容が一致していること）、A4用紙で各2枚程度にまとめる。Bコースに応募の場合は西語の代わりに英語で作成すること。
-
5. 推薦状 和文 各6部（正本1部+コピー5部）
西（英）文 各6部（正本1部+コピー5部）
- 専門分野についての能力、人物等について、適切に評価し得る人（教授等）3名による推薦状。形式は自由。
-
6. 成績証明書及び卒業証明書 和文 各6部ずつ（正本1部+コピー5部）
西（英）文 各6部ずつ（正本1部+コピー5部）
- 学士以上の学位を取得した場合は全ての成績証明書に加え卒業証明書を提出する。
-
7. 語学（西語又は英語）能力を証明する書類（保有者） 西（英）文6部（コピー可）
- 西語：スペイン語技能検定、DELE等の合格証明書、語学学校（西語コース）の修了証（修了レベル記載のもの）等

8. 健康診断書

和文 6部 (正本1部+コピー5部)
西(英)文 6部 (正本1部+コピー5部)

部)

留学生活に差し支えない健康状態であることを証明するもの。形式は自由。大学の健康診断書でよい。健康診断書のサンプルを添付する。(なお、この用紙をそのまま使用することも可。)

<提出書類についての注意事項>

1. 出願書・経歴書のコピーは、写真貼付後の正本からとること。
2. 正本が和文(又は、西文・英文)のみしか用意できない場合は、正本と正本のコピーに応募者本人の西・英訳(又は、和訳)を記入したものを提出すること。
3. 出願書類は、右上に書類の番号を記入し、1部ずつ順に重ねて左上にホッチキスでとじ、和文6部、西文(又は、英文)6部を作成すること。
4. 出願書類は、A4判の大きさに折りたたむか、台紙に貼付し、A4判で統一すること。
5. 開封無効の証明書等も開封してとじること。
6. 提出された書類は一切返却しない。

9. 戸籍抄本

和文 6部 (正本1部+コピー5部)
西(英)文 6部 (正本1部+コピー5部)

部)

公的機関の発効する正本(和文)と正本のコピーに西文訳、又は、英文訳を記載したものの両方を提出する。

10. 写真

4枚

4cm×5cm、上半身脱帽、6か月以内に撮影したもの。裏面にローマ字で所属(大学・会社等)及び氏名を記入。出願書及び経歴書正本それぞれに貼付すること。残り2葉は封筒等に入れて送付すること。

第36回(2007年度)日墨交流計画学生出願書

(フリガナ) 氏名		写 真 4cm×5cm
ローマ字(名字・名前) (□男・□女)		
生年月日	19 年 月 日 (歳)	
留学先での専攻分野		
希望コース	1. A・専攻コース 2. A・研究コース 3. B・特別交流コース 4. B・国際的医療人材支援コース	
留学希望大学等 (学部まで記入)	第一希望： 第二希望：	
現住所	〒 - ----- 電話(自宅) () FAX () 電話(携帯) ----- e-mailアドレス	
留学中の国内連絡先	〒 - ----- 電話(自宅) () 氏名 続柄 () 電話(携帯)	
現 職 学生は学校名・在籍年次を書くこと。		
学 歴 高校以上の学校・学部・研究科・学科名を書くこと。学位取得課程のみ。		
期 間	学校・学部・学科名	
年 月～年 月		□在学中(年) □卒業見込 □卒業/修了
年 月～年 月		□在学中(年) □卒業見込 □卒業/修了
年 月～年 月		□在学中(年) □卒業見込 □卒業/修了
年 月～年 月		□在学中(年) □卒業見込 □卒業/修了
現在の所属 学校名・学年または会社名等		

研究歴 (別紙を添付してもよい) : 発表論文表題・作品名等について簡条書きで書くこと (年月日も)。

語学試験希望受験地: 希望コースがA. 専攻コース及びA. 研究コースの者のみ記入

東京会場

京都会場

英文診断書 例

Certificate of Health

Name in full: _____ Age: _____
(Family name) (First name)

Address: _____

I. History (Injury, illness or operation during the past five years)

Injury or illness:

Operation:

II. Examination:

Height: _____ cm Weight: _____ kg

Check for normal:

- | | |
|----------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> Head | <input type="checkbox"/> Eyes |
| <input type="checkbox"/> Ears | <input type="checkbox"/> Nose |
| <input type="checkbox"/> Pharynx | <input type="checkbox"/> Neck |
| <input type="checkbox"/> Heart | <input type="checkbox"/> Lungs |
| <input type="checkbox"/> Abdomen | <input type="checkbox"/> Reflexes |

Describe abnormalities: _____

III. Summary:

In my opinion the applicant's Health and physical condition is :

I believe this applicant(is / is not) physically able to study abroad.

Remarks: _____

Signature: _____

Address: _____

Date: _____

FAQ(Frequently Asked Questions)

1. スペイン語を専攻していますが、Bコースで応募することは可能でしょうか?
* Bコースはスペイン語初級レベル以下の方を対象としています。大学等で既にスペイン語を専攻している方はAコースに応募して下さい。
2. 留学希望先はどのように選べばいいですか?

を行っています。

(独) 日本学生支援機構 留学情報センター

【住所】〒135-8630 東京都江東区青海 2-79

(新交通ゆりかもめ「船の科学館」駅東出口下車徒歩 5 分)

【事務所】03-5520-6131 (サービスコード 9060) 月～金 ※ 9:30～17:00

【資料閲覧室】03-5520-6131 (サービスコード 9060)

毎日 ※ 9:30～17:00 (土日祝は 10:00～16:00)

【海外留学相談】03-5520-6116 / 7

毎日 ※ 10:00～16:00 (ただし土日祝は英語圏への留学相談のみ)

※第 2 水曜日、祝日、年末年始、ゴールデンウィークを除く

留学情報センター神戸サテライト

月～金 (祝日、年末年始を除く)

【住所】〒651-0072 神戸市中央区脇浜町 1-2-8

【事務所・資料閲覧室】078-242-1742 (サービスコード 9121) 9:30～17:00

【海外留学相談】078-242-1744 11:00～17:00

* 在京メキシコ大使館文化部では、メキシコ留学に関する書面による相談を受け付けています。

【住所】〒100-0014 東京都千代田区永田町 2-15 - 1

【電話・ファックス】 Tel: 03-3581-1131 Fax: 03-3581-4058

* 本計画の担当機関であるメキシコ国家科学技術審議会 (CONACYT) のホームページを併せてご参照下さい。

CONACYT

<http://www.conacyt.mx>

3. 体験談があれば見たいのですが。

* 日本学生支援機構留学情報センターの資料閲覧室で本計画参加者のアンケートを公開しています。ご参照下さい。(所在地、電話番号は上記の通り)

4. 試験の内容はどんなものですか? 可否のラインを教えてください。

* Aコースの1次試験は、文法・読解問題、西文和訳、和文西訳等総合的なスペイン語能力を見る内容となっています。2次試験はスペイン語会話と面接です。Bコースについては、書類と面接で適性・人物考査を行います。可否はその年の応募者のレベルによって異なります。

5. スペイン語未習者ですが、Bコースで合格した場合、渡航後の生活に不安があります。何かよいスペイン語研修を紹介して下さい。

* (株)日本スペイン語センターにおいて、本計画参加者に対する初級スペイン語講習の実施(有料)を予定しています。詳しくは外務省 中米課(担当: 青木 03-5501-8000 内線: 2494)にお問い合わせ下さい。

6. 治安面に不安があります。治安状況を教えてください。

* 外務省のホームページ (<http://www.anzen.mofa.go.jp/>) では国別の海外危険情報を掲載しています。安全で有意義な留学のため、各自で事前に留学先の治安状況を確認して下さい。

7. 出発までの大体の日程を教えてください。

* メキシコ政府より正式に受入れの可否が決定されるのは、通常、渡航の1ヶ月前です。渡航は2008年7月下旬～8月初旬を予定していますが、その年の状況により予告無しに変更されることがあります。

2008年 5月 スペイン語初級者に対する西語講座開始
6月 メキシコ政府より正式な受入れ通知
6月～7月 説明会実施
7月下旬～8月上旬 出発